

新時代を駆ける

4月24日、私は妻と恩師記念
会館で厳粛に勤行・唱題した。

第3代会長に就任より55年。

御聖訓通りに競い起こる三障

四魔を全て勝ち越え、恩師の構
想を一切、実現した

ことを、牧口・戸田

両先生に報告申し上げた。

苦楽を共に、

戦い続けてくれている全同志の
健康と無事故とご多幸、そして
所願成就を懇ろにご祈念した。

＊ ＊

世界の平和と民衆の幸福を願
われて、日蓮大聖人は建長5年

(1253年) 4月28日、立宗
宣言をされた。迫害を覚悟の上
で説き始められたのである。

「開目抄」には仰せである。

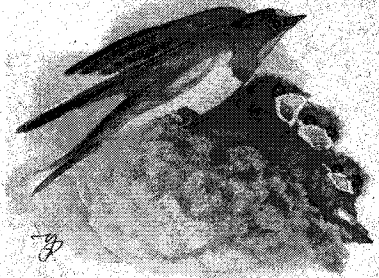
「我日本の柱とならむ我日本

前へ前へと栄光の峰へ！

の眼目とならむ我日本の大船と
ならむ等とちかしい願やぶるべ
からず」(御書232頁)

このお心を拝し、広宣流布と

立正安国へ挑む我らこそ、世界
の「平和の柱」「教育の眼目」



「文化の大船」である。

誉れ高く生き抜きたい。

恐れなく戦い抜きたい。

栄光の峰へ

皆、正義の開拓者だ。万年に

輝きわたる、共戦の歴史を今、

つくっているのだ。苦勞は全

部へ生きる。一つも無駄はない。

誰が何と言おうが、「誓いを貫

いた！」「やりきった！」――

こう言える人が勝利者である。

＊ ＊

戸田先生は「人生は強気でい
け！」と叫ばれた。信心で突破
できない壁などない。

人生、勢いのある人が勝つ。

人生、諦めない人が勝つ。

人生、折り抜いた人が勝つ。

(大闘争の中で、皆が大功德を
受け切っていくのだ。立派な後
継を育て、何ものにも負けない
民衆の人材城を築くのだ。

師弟不二の信力・
行力があるところ、
偉大な仏力・法力が
湧き起こらないわけ
がない。嵐を越えてこそ、希望
の虹は輝く。栄光の峰へ、異体
同心で、前へ前へと進むのだ。

全世界の友と5月3日「創価
学会の日」「創価学会母の日」
を断固、勝ち飾ろう！